

改善が進む中小企業のビジネス環境

10月24日に世界銀行が発表した報告書「Doing Business 2020」において、サウジアラビアは前年から30位上昇し、190カ国中62位となった。また、最もビジネス環境の改善が見られた国と評価され、10の評価対象分野のうち8分野で改善が見られた。本報告書は、中小企業のビジネス活動を拡大または制約している規制を評価するために世界銀行が毎年発表している。サウジアラビアは、2016年に中小企業庁（Monsha'at）を設立する等、中小企業育成に取り組んでおり、大幅なランキングの上昇はここまでの取り組みの成果と考えられる。

中小企業庁（Monsha'at）

2016年に商業投資庁の傘下に設立された機関。国内企業、外資企業を問わず全ての中小企業を支援する。また、女性の起業家育成にも力を入れており、女性の起業支援にフォーカスした部門を設置しているほか、Monsha'atの従業員の30%は女性となっている。

(HP) <https://o.monshaat.gov.sa/en>

Vision 2030の達成に欠かせない中小企業の成長

2030年までに「中小企業のGDPへの貢献」を20%から35%に引き上げる目標が掲げられるなど、中小企業の成長はVision 2030の重要な要素となる。また、サウジで課題となる失業率の改善にも期待が寄せられる。日本の中小企業の従業員数は3,361万人と、大企業を含む全従業員数の約70%となっているのに対し、サウジは、中小企業で働くサウジ人の割合は49%となっており、更に雇用を創出する余地があると考えられる。若年層が多いサウジでは、毎年40万人が労働市場に参入すると言われており、中小企業の成長は雇用創出という観点でも重要となる。

成長を後押しする事業環境の改善と労働意識の変化

今後の中小企業の成長は、次の2つの点で期待が持てる。

1つはDoing Business 2020の結果の通り、事業環境の改善である。Vision 2030における中小企業関連の目標の設定や、Monsha'atの設立など、サウジ政府が主導となり中小企業育成に取り組んでおり、中小企業のサポート体制を含めた事業環境は確実に改善している。

もう1つはサウジ人の労働意識の変化である。以前は、サウジ人は公務員が多く、サービス産業で働く姿を目にすることはほとんどなかったが、Vision 2030以降、ホテルやレストランにおいて多くのサウジ人が働く姿を見かけるようになった。最近ではスーパーマーケットやファーストフード店でもサウジ人の活躍を見ることができ、労働意識の変化を実感することができる。

サウジ人の職業選択の多様化は、今後の中小企業の拡大にとって大きなプラス材料であり、事業環境の改善と合わせ、中小企業の成長を後押しすることが期待される。(2019年10月)

お問合せ先

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

Address: 5th Floor, Council of Saudi Chamber Builg, Riyadh 11614

Tel: +966-11-219-9155 E-mail: infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp

Website: <https://www.jetro.go.jp/sj-visionoffice/>